



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

コード番号 5013 URL <http://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長

(氏名) 百束 立春

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,059	7.3	252	18.6	388	△0.4	267	13.7
24年3月期第1四半期	5,648	△0.1	213	△62.2	389	△44.3	235	△38.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 629百万円 (△0.8%) 24年3月期第1四半期 634百万円 (1.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.34	—
24年3月期第1四半期	17.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	29,974	21,084	65.7
24年3月期	28,962	20,690	67.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 19,686百万円 24年3月期 19,400百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,950	10.5	1,170	33.2	1,650	27.1	1,000	44.1	72.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,200,065 株	24年3月期	15,200,065 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,346,140 株	24年3月期	1,346,135 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	13,853,928 株	24年3月期1Q	13,854,089 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済は、欧州での債務危機を巡る先行き不透明感に加え、中国で欧州向けの輸出が減少する等新興国で経済成長の頭打ち感が生じ、全体として減速傾向が強まる状況となりました。一方、我が国の経済は世界経済の減速と円高の影響を受けて輸出が伸び悩んでいるものの、震災復興特需やエコカー補助金の効果もあり回復基調にあります。

当社の主要顧客の属する自動車業界は、震災直後の稼働率低下から立ち直り、自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に増加しました。

このような状況下、売上高は前年同期を大きく上回る日本や、日系以外の自動車関連メーカーへの拡販に努めた米国等での好結果から増収となり、前年同期比7.3%増の6,059百万円となりました。

利益面では、国内外での原材料価格の高騰や円高が響いたものの、売上高が大幅に回復した国内での収益に支えられ、営業利益は前年同期比18.6%増の252百万円となりました。経常利益は388百万円となり、前年に臨時収入を数件計上していたこともあって前年同期比0.4%減少しましたが、四半期純利益は前年同期比13.7%増の267百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

## [日本]

金属加工油剤事業においては、国内自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に増加した影響を受け、売上高は前年同期を大きく上回りました。

また、ビルメンテナンス製品事業においては、高付加価値製品の拡販による収益改善に努めました。

その結果、売上高は前年同期比14.6%増の4,137百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、売上高増加の影響で、200百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

## [南北アメリカ]

米国では、好調な自動車業界に牽引されるとともに積極的な販売活動が奏功し、売上高は順調に伸長しました。ブラジルでは、自動車生産台数の減少と円高の影響もあり、売上高は前年を大きく下回りました。

その結果、売上高は前年同期比3.2%減の789百万円に留まり、セグメント利益（営業利益）は原材料価格の高騰や円高の影響もあって、前年同期比36.7%減の66百万円と落ち込むことになりました。

## [中国]

中国では、日系自動車メーカーの生産が堅調に推移したものの、輸出が全般的に停滞し始め、主要顧客の鉄鋼会社でも生産量が大幅に減少しました。

その結果、売上高は前年同期比11.3%減の719百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、売上高減少の影響のみならず原材料価格の高騰が響き、前年同期比62.9%減の32百万円となりました。

## [東南アジア／インド]

東南アジア各国においては、二輪車、自動車の販売が好調に推移しており、生産台数も増加傾向にあります。このため、各子会社の売上高は好調に推移しました。インドでは、日系自動車メーカーを中心に積極的な販売活動に努め、売上高を伸ばしました。

その結果、売上高は前年同期比0.7%増の412百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原材料価格の高騰やインドネシアにおける営業活動の本格化による経費増等があり、36百万円の損失（前年同期は36百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、29,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,011百万円増加しました。主な要因は、「有形固定資産」が327百万円、「原材料及び貯蔵品」が268百万円、「商品及び製品」が166百万円、「現金及び預金」が154百万円増加したことによります。

負債は、8,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ617百万円増加しました。主な要因は、「賞与引当金」が213百万円減少したものの、「短期借入金」が343百万円、「支払手形及び買掛金」が319百万円、流動負債の「その他」が272百万円増加したことによります。

純資産は、21,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円増加しました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」が239百万円減少したものの、「為替換算調整勘定」が492百万円変動したことと、「少数株主持分」が108百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日発表の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,661	5,815
受取手形及び売掛金	5,920	5,985
有価証券	340	340
商品及び製品	1,052	1,218
原材料及び貯蔵品	1,302	1,571
未収還付法人税等	332	280
未収消費税等	0	—
繰延税金資産	148	177
その他	188	172
貸倒引当金	△33	△44
流動資産合計	14,913	15,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,832	3,036
機械装置及び運搬具（純額）	755	935
工具、器具及び備品（純額）	195	233
土地	3,935	3,932
リース資産（純額）	49	45
建設仮勘定	453	364
有形固定資産合計	8,221	8,548
無形固定資産		
	324	383
投資その他の資産		
投資有価証券	4,830	4,788
保険積立金	473	465
繰延税金資産	56	127
その他	159	160
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	5,503	5,524
固定資産合計	14,049	14,457
資産合計	28,962	29,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,493	3,812
短期借入金	1,280	1,623
リース債務	15	15
未払金	548	486
未払消費税等	16	22
未払法人税等	78	45
賞与引当金	420	206
役員賞与引当金	16	3
その他	668	940
流動負債合計	6,536	7,156
固定負債		
長期借入金	275	264
リース債務	36	33
繰延税金負債	44	46
退職給付引当金	918	926
役員退職慰労引当金	206	208
訴訟損失引当金	75	75
長期預り保証金	159	160
資産除去債務	13	13
その他	6	4
固定負債合計	1,735	1,733
負債合計	8,272	8,889
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	16,382	16,415
自己株式	△1,454	△1,454
株主資本合計	23,236	23,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	23
為替換算調整勘定	△4,098	△3,605
その他の包括利益累計額合計	△3,835	△3,581
少数株主持分	1,290	1,398
純資産合計	20,690	21,084
負債純資産合計	28,962	29,974



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,648	6,059
売上原価	4,045	4,321
売上総利益	1,602	1,737
販売費及び一般管理費	1,389	1,485
営業利益	213	252
営業外収益		
受取利息	33	37
受取配当金	21	21
持分法による投資利益	109	99
その他	44	10
営業外収益合計	208	168
営業外費用		
支払利息	7	7
為替差損	11	16
その他	12	9
営業外費用合計	32	33
経常利益	389	388
特別利益		
固定資産売却益	1	0
その他	6	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
その他	0	—
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	396	385
法人税等	100	95
少数株主損益調整前四半期純利益	295	289
少数株主利益	59	21
四半期純利益	235	267

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295	289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△239
為替換算調整勘定	181	382
持分法適用会社に対する持分相当額	157	197
その他の包括利益合計	339	340
四半期包括利益	634	629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	538	521
少数株主に係る四半期包括利益	95	108

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,611	816	810	409	5,648	—	5,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	26	—	12	154	△154	—
計	3,727	842	810	421	5,802	△154	5,648
セグメント利益 又は損失(△)	△5	104	88	36	224	△10	213

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△10百万円は、未実現利益の消去であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,137	789	719	412	6,059	—	6,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	16	—	—	142	△142	—
計	4,263	806	719	412	6,201	△142	6,059
セグメント利益 又は損失(△)	200	66	32	△36	262	△9	252

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△9百万円は、未実現利益の消去であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。